

ひびばい

市議会だより

令和6年5月1日

67号

発行 美 唄 市 議 会
編集 市議会広報委員会

新市立美唄病院

令和6年第1回定例会が3月4日に開会し、3月21日に閉会しました。本会議では「令和6年度市政執行方針」「令和6年度教育行政執行方針」が示され、議案は条例改正案件14件、補正予算案件3件、当初予算案件10件が上程されました。

3月8日に6人、11日には5人の議員が一般質問を行いました。

予算審査特別委員会が開催され、令和5年度補正予算では合計1億1419万9千円の補正予算が可決しました。

次に令和6年度予算案として、恵風園・恵祥園建替え等基本構想策定事業に297万円、交流拠点施設整備事業（ゆくりん館）の経年劣化した施設更新や修繕などに1809万5千円、排水機場整備事業に1億2590万1千円、給食センター厨房の冷房設置

第1回定例会（3月4～21日）終わる

◎ 令和6年度一般会計予算

◎ 令和5年度一般会計補正予算

194億7892万8千円可決
1億1419万9千円可決

◆◆ 主な内容 ◆◆

- ◆ 一般質問
- ◆ 各委員会の報告
- ◆ 定例会審査議案
- ◆ お知らせ
- ◆ 市議会の動き
- ◆ 編集後記

などに3084万4千円、テニスコート周辺整備・市営球場改修に2567万4千円、総合体育館屋上改修工事に7096万1千円、公営住宅新団地建設基本計画策定に784万2千円、地域公共交通A Iデマンドバス実証運行などに4335万4千円、ほか多くの事業について提案され質疑が行われました。

21日本会議において令和6年度一般会計予算について反対があつたため討論が行われ、賛成12人、反対1人で可決されました。

一般質問

今定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。
質問・答弁は本人が要約したものを掲載しています。

令和議員会

海鋒 則秀 議員



問 美唄市の農業の現状について

不安定な世界情勢が続く中、生産コスト上昇分を農産物価格に転嫁できない状況が続いている。このような状況が続くと、後継者問題、田園風景を守って行くことが困難になる。持続可能な対策を進めていかなければならない。

答 物価高騰の他、気温の上昇による高温障害など、農業を取り巻く状況は困難を極めております。こうした中、農業者の皆さんは経費を節減しながら、良質な農産物を愛情込めて生産されている。美唄市農協の組合員勘定の状況を見ると農業経営に甚大な影響が出ている。複数年に及ぶ所得減少は大きな問題となって

おり、担い手への影響についても深刻な課題として受け止めている。令和6年では新たに、農業機械をより低コストで導入するための助成制度を作り支援する他、たまねぎ直販栽培、園芸施設共済掛金の一部助成、RTKアンテナの設置支援を行う。

問 本市で生ごみ堆肥を生産しているが、粉末状からペレット状にできないか。

答 生ごみ堆肥については、市内の一般家庭から収集した生ごみに、もみ殻を副資材として加えて水分調整を行い、発酵と攪拌を繰り返し熟成させ3か月程度で粉状の堆肥を製造している。ペレット加工すること、どの程度の需要があるのか、また、経費等の調査が必要である為農業者及び関係機関と情報共有を図りながら調査を進めると共に、国の「みどりの食糧システム戦略」における取り組みなどを踏まえて検討していく。

みずほ議員会

松山 教宗 議員



問 これまで利便性向上のためJR美唄駅等にICカード対応改札機の導入について質問。

3月のJRダイヤ改正に伴い本市に係る見直し内容は、

答 本年度美唄駅の1日乗客数は1308人まで回復。JRは岩見沢駅から旭川駅までICカードエリアを拡大。峰

延・光珠内・美唄・茶志内各駅でもICカードが利用でき

ることに。特急割引SきっぷはICカード非対応で現状ど

問 夜間交通対策支援事業について、特に週末夜事業所へ

の電話が繋がりにくいといった問題点がある。令和6年度の事業と予算の考え方は、

答 全体の概ね8割が飲食店関係の利用者が週末が多く曜

日ごとの補助対象台数を見直し、4月から金・土曜を2台から4台とし深夜2時までの稼働時間を短縮し1時30分までとする。また国においてライドシェアや家用有償旅客運送制度の拡充などタクシードライバー不足改善の制度設計が行われていることから現状の補助制度の補助金執行を本年上半期までとし、下半期以降の補助金執行方法については国のライドシェア等の動向を見据え検討していく。

問 地域公共交通について、AIデマンドバス実証運行を本年下半期に開始と承知しているが財源内訳と実証時期は、

答 総事業費約4300万円のうち過疎地域持続的発展支援交付金2000万円、同特別事業債380万円で、約2000万円は一般財源とし、既に交付金申請は本年1月に。5月中に選定・内示、下旬に交付決定であり、実証実験は10月から12月の3か月間を予定。

《その他の質問事項》

◎火災予防啓発活動並びに消防分団の再編・分団員確保や処遇充実について

◎除排雪事業について

市民交流クラブ

山上 他美夫 議員



問 国は、魅力あるまちづくりのために「住民にとって暮らしやすい様々な都市機能がコンパクトに集積し、アクセシやすく歩いて暮らせるまちづくり」を推進する事としている。しかし、今の美唄市の中心市街地は、賑わいを創出する施設やコンベンション機能を持った施設が無く、公式行事や会議、展示会などの開催には不便を感じる状況であり、中心街の魅力を高め、賑わいを創出する施設を整備することは急務な課題である。しかし、コンベンション機能を持った施設を新しく建設するには高額な建設費が必要であり、美唄ホテルスエヒロを改修したほうが安価に整備できると考えるが、空きビルと

してこのまま放置するのか、再活用するのか考えを伺う。

答 美唄ホテルスエヒロの利活用について、譲渡に係る打診の際には活用方法も含め慎重に対応してまいります。

今後、中心市街地活性化基本計画を策定する中で、所有者の意向を踏まえながら関係団体と連携して見出してまいります。

問 新年度予算では「中心市街地元氣創出事業」として前年度より800万円多い予算が組まれているが、市長はどのような中心街活性化の青写真・構想を描かれているのか伺う。

答 「中心市街地活性化基本計画」策定に着手するため、地域創造力アドバイザーや地域おこし協力隊を活用し、計画策定に向けた検討組織の立上げや、立地適正化計画にある、旧美工跡地での公営住宅等の集約などと一体的に、中心市街地の再生と活性化の計画策定を繋げて行きます。

無会派

永森 峰生 議員



問 選挙公約の実現とマニフェストについて

市長は選挙で掲げた公約の実現について市民へ具体的に説明していく責任があり、今後の政策を具体的に示すため、事業名、実施時期、予算規模、期間、財源を記載したマニフェストを作成し、文書で公表すべきと考える。

答 現在、公約事業のロードマップを作成しているところであり、事業の実施内容や、そのスケジュール、予算などを盛り込み、年度内に公表し、毎年更新していく。

問 生活困窮者自立支援事業の充実と子ども食堂について
物価高騰が続く中で、生活が困窮している子育て家庭への支援が必要であり、貧困の

連鎖を防ぐためにも子どもの学習支援事業に取り組み、どんな子どもにも居場所や食事を提供する子ども食堂への展開に繋げていくことが必要ではないか。

答 子どもの施策の充実は大変重要と考えている。子ども達の将来に有効となる事業展開とすべく、実現に向け、十分協議したい。

問 「福祉総合相談窓口」の設置について

市民への相談支援体制の充実を図り、悩み事、困り事を抱える市民のために「福祉総合相談窓口」を設置すべきである。

答 生活困窮のみならず、介護や子育て、引きこもり、納税、転居の希望まで各種会議にて、課題整理や支援方法を見極め、組織的な対応や断らない相談の充実に努めている。さらには、市民の声を聴く窓口があることを、ホームページや折り込みチラシなどで市民に分かりやすい表現での記事掲載を検討し、相談しやすい窓口環境づくりに努める。

令和議員会

森 明人 議員



水道事業会計について

全国の自治体にて、水道料金の上昇が人口減少エリアにて増えている。老朽化した水道管等の更新時期・送水に必要な電気代の高騰等が背景となっている。老朽管路の更新は進めているが財源はすべて企業債に依存している。それ以外の施設等は更新が進んでいない状況だ。

問 ①本市の水道事業会計の状況を伺う。

答 ②一般会計の繰出し状況・水道会計の貯蓄の状況を伺う。
①令和5年度決算見込では一般会計から繰入れ、約1400万円の純利益、資金剰余は約6500万円。少なくとも給水収益の5割程度の2億5千万円程度は保有しなけ

市 議 会 だ よ り

ればならない。経営状況は極めて厳しい。

②令和5年度決算見込みで、要綱で定められている補助金及び水道料金減免分に伴う補助金が約6000万円、繰入金は約8500万円。令和6年度予算に収支不足分の繰入金約1億400万円を計上したところでは。

問 現行の料金収入では健全な事業運営ができない。本市の現状は問題を先送りしている。水道料金値上げについて市長の考えを伺う。

答 このまま赤字運営を続け、一般会計から繰入金を続ける事は独立採算である水道事業としては好ましくない。さらに一般会計の事業に大きく影響がある。安心で安全な水の安定提供をしていくためにも適正な料金設定をし、健全な経営の維持に努めてまいります。

みずほ議員会

古賀 崇之 議員



問 農業後継者事業について。令和5年度事業の実施状況は札幌市で行われた新規就農フェア等に出展し就農に興味を持つ10組の方々への面談を行ったほか、農政課窓口での就農相談に7組で10回面談を行った。このうち1組については農業次世代人材投資資金(準備型)を活用し就農に向け市内で農業研修を受けている方が1組となっている。

答 令和6年度の新たな対策として、新規就農者フェアなどでの面談において、第三者継承での就農を希望される相談もあったことから、地域おこし協力隊を活用した第三者継

承を含めた新規就農者対策を行っていく。

問 防風林維持管理事業の現状と今後について伺う。

答 美唄市の防風林の面積は全体で318.9haでありこのうち国有防風林が149.6ha、市有防風林が169.3haとなっている。

防風林の維持管理については毎年、野ねずみの駆除をはじめ倒木処理、枝払い等を実施し、枯損箇所を補植を進め農作物の増収を図るため機能強化に努めている。今後の整備についても、道への要望を継続し枯損箇所の補植を進め、本市としても森林環境贈与税を活用し機能回復強化を行っていく。

問 農道離着陸場の現状と今後の多面的利用促進について。

答 現在の利用状況は、軽飛行機やスカイダイビング等の利用実績が増えている。今後利用促進については、指定管理者との協議はもとより、他市町村の利用状況確認や北海道農道空港離着陸場協議会と情報共有し、多目的な利用促進や施設の改修を含め検討していく。

市民交流クラブ

江川 いつみ 議員



問 自治体間の連携について

南空知圏域の市町は、人口減少・過疎化・少子高齢化・人材不足など共通の課題を抱えている。自治体間の協定により、情報共有、政策連携、共同調査研究を行うことで、より効果的な事業実施やサービスの提供、経費節減が可能となる。協定を継続的かつ計画的に有効活用することが重要であると考えている。また、東川町とのパートナー協定は、人材交流によりまちづくりのノウハウを学ぶ大切なパイプとなっている。成果を波及させ、市政に生かすことが重要と考えるが、現状と今後についての考えを伺う。

答 南空知圏域9市町で協定を結び「地域防災」「地域公

共交通」「ICTインフラ」について共同事業を実施している。今後も行政事務の効率化や経営資材の共同利用等に取り組む。また、東川町に派遣した職員は、企画力やプレゼンテーション力の向上がみられ、今後とも信頼と期待に応えられるよう人材育成に努める。

問 多文化共生社会について

市内の外国人材やその家族は、今後も増加が見込まれている。地域社会の一員として、定住に必要な日本語学習支援、生活支援、相談体制などを整備するための計画や指針が必要であると思うが、考えを伺う。また、多文化共生が子どもの教育にもたらす影響についての考えを伺う。

答 外国人住民が安心して生活していけるように、国際交流団体と連携し多文化共生社会に向けた仕組みや計画づくりを検討する。また、多文化共生は、子どもたちが多様なものの見方や価値観を理解するきっかけとなり、多様な他者と共生しながら生きること学べる。外国人児童生徒には理解度や困り感に合わせた指導を行う。

無会派

吉岡 建二郎 議員



問 市政執行方針について、庁舎の建替えについて触れられていない。すぐにできることではないが、社会教育施設との複合化検討を進めていく必要があると考えるが市長の考えを伺う。

答 築48年が経過しており、耐震化や建替えは必要だと考えている。多額の費用を要することからこれまで病院建替えを優先的に進めてきた。来年度は恵風園・恵祥園の建替え等基本構想に着手するため、庁舎については令和7年度までに方針を検討する。

と伺った。先送りしすぎではないか。前倒しして考える必要があると考える。

答 再編方針として、建替えを行う場合には、現状の規模や機能をそのまま更新するのではなく、機能の集約化や複合化等を併せて検討し、より良い住民サービスの提供を検討することとなる。

庁舎の建替えに当たっては、人口減少や高齢化を見据えた中で、住民サービスの低下を招くことのないよう、社会教育施設等との施設機能の集約化・複合化など、公共施設の再編による庁舎の在り方や公共施設全体の配置計画などを踏まえ、まずは方針の検討について取り組んでいく。

《その他の質問事項》

◎市政執行方針について

①中心市街地活性化について
②都市基盤整備、市営住宅について、上下水道料金の設定の検討について

③むすびについて

◎教育行政執行方針について

①学校教育について
②社会教育施設の充実について

令和議員会

川上 美樹 議員



問 保育士の確保をして保育環境を充実すると働きざかりの保護者が美唄に留まる。ま

ちも活気づく。納税も増える。納税が増えれば高齢者施策へも事業費を増やせる。子育て支援に力を入れれば、まちの好循環ができる。経済の悪化で共働きが増えるため、保育士は必要。本市で働く事を要件にした専門学校への学費の奨学金などの方法も考え、保育士の確保をすべきでは。

答 保育士の採用は3人に留まった。受験者の確保に向け、道内の学校へ訪問、スマートフォンでの閲覧など公務員試験情報サイトを活用した周知などに努め、保育士の確保に取り組む。

問 「やり直し学習」や「習

熟別学習」にAIドリルを活用し、更に不登校対策としてメタバースを利用した学習環境を整備し、高度化するデジタルの世界で生きる児童生徒には、先端技術を学習の中で使いながら、自分がつまづいた單元までAIが誘導してくれるメリットなどを十分活用すべきだろうか。

答 AIドリルは新年度から取り入れる。帯広市で「メタバース空間」を活用した不登校支援を開設している。本市も調査する。

問 SNSでの誹謗中傷、携帯電話の不正利用などについて、法に反する場合、「知らなかった」では済まされない。どんな行為が、どんな法にふれ、どのような罪になるのか、中学生のうちに学ぶべき。

答 「誹謗中傷」や「個人情報」の流布「闇バイト」「迷惑動画投稿による炎上」など、トラブルや犯罪等に巻き込まれないよう取り組む。

市民交流クラブ

齋藤 久美夫 議員



問 「コミュニケーションFM放送局の第一義である地域コミュニケーションの活性化、まちのにぎわいづくりに関してどの様にお考えか」また、「他局のコミュニケーションFMに出演されて、ラジオについてどうお感じになったのか」お伺いする。

答 コミュニティ放送は、地域におけるニューメディアとして、地域の身近な話題などを提供するだけでなく、地域の情報発信基地として、重要な役割を担える存在であり、今後におきまして、持続可能な経営基盤が必要でありますことから、コミュニケーション放送開局に向けた機運醸成が図られていくこと、更に他局の番組出演を通じて、本市においてもこうした民間の取り組み

みによつて地域コミュニティが活性化していくことを期待したいところです。

《その他の質問事項》

◎ 市と不動産会社の大手町地所とが対立している、南美唄地区の建設発生土の受入れ費用に関わる市職員の対応について、市長にお伺いした。

本件は、市財務規則で決められている職員の「専決決裁権」について、当時の担当職員が打合わせ段階で、たとえ契約まで至ってはいないが、自らの範囲外のことを事前に庁内の関係部局や市長、副市長との確認行為もなく相手と約束する様な行為について、市はどの様に受け止めているかを問うたが、市長は現在の件は訴訟中であり、今後の訴訟の場において明らかにすべきものであるとして、明確な答弁を避けた。

無会派

本郷 幸治 議員



今定例会では、

①市政執行方針について

②企業版ふるさと納税について

③高齢者福祉行政について

質問しました。その主なものについて報告します。

問 市政執行方針の3つの基本政策の「市民の暮らしを守ることを最優先にする」なか

で「AIを活用した、より利用しやすい新たな交通手段の確保に取り組む」とあるがその具体的な内容について伺う。

答 市民の公共交通ニーズを把握するためアンケート調査を実施し、その結果として「バスの便数を増やしてほしい」「バスの運行ルートがわかりづらい」「停留所を増やしてほしい」など多くの意見

が寄せられ、これらの課題を

解消するためAIを活用した

予約・配車等を行うAIデマ

ンド交通の実証調査を行い、

スマホアプリや電話による予

約に基づき人口知能のAIを

利用したシステムにより、利

用者の希望した時間に、希望

した場所へ、早くたどり着け

るよう、最適な乗り合わせル

ートを作成し、効率的に利用者

のニーズに合った移動を目指

し、利便性の向上を図るため

実証運行を行います。

問 「びばいの未来へ投資す

る」なかで「人口減少に歯止

めをかけ、未来にわたって持

続可能な地域社会をつくる」

その具体策について伺う。

答 本市においては、希望す

委員会報告

常任委員会と特別委員会での
質疑応答と議論の主な内容

第1回臨時議会

《総務・文教委員会》

1号 訴えの提起について

問 訴えの相手方は、南美唄地域や東明地域に多く土地を持つっており、訴えを起こすことで、その土地に暮らしている地域住民の方々に影響が出ないよう配慮が必要ではないのか。

また、授権事項に和解又は請求の放棄と書かれていても、議会の議決が必要となるという認識でよいのか

答 昨年、除排雪に関しても、相手方から地域の方々に対して迷惑をかけないとした内容が配られたということもあり、地域住民への影響はないと考えるが、地域住民の暮らしを守ることを前提に裁判を進めていきたいと考えている。

また、上告や和解などの手続が必要になった場合には、地方自治法の規定による議会

の議決等は当然必要なものと認識している。

1号 原案可決

《産業・厚生委員会》

2号 美唄市手数料徴収条例の一部改正の件

問 改正の趣旨の中で、戸籍謄本等の広域交付等が可能になるとのことだが、本籍が違う方についても、住んでいる市町村で交付ができるのか

答 今までは本籍地のみに限定されていたが、令和6年3月1日から広域交付制度が始まり、戸籍・除籍謄本の交付が本籍地以外の市町村の窓口においても可能となる。

2号 原案可決

《予算審査特別委員会》

委員長 齋藤久美夫

副委員長 川上 美樹

3号 令和5年度一般会計補正予算第9号

問 「基金積立金」について、交流拠点施設整備基金はゆりん館の整備に充てる基金だと思いが、ゆりりん館は建築後かなり年数も経ち、老朽化もしていることから、今後、改修等の計画があつて、それ

に向けて5000万円を積み立てることなのか



ゆーりん館

答 交流拠点施設整備基金については、交流拠点施設の整備改修を行う際に有利な起債がないため、これらの費用に充てるために設置されたものであり、近年は老朽化等によりこれら設備の更新等が多くなってきていることから、今回5000万円を積み立てることとした。

また現在、施設の大規模改修等の予定はないが、今後、大規模改修を行うことになった場合、過疎債等の有利な財源を活用し整備を行うことになると考えている。

4号 令和5年度美唄市国民健康保険会計補正予算(第2号)

問 医療費が大幅に増額したことに伴い、高額療養費のみを補正するということが、医療費の大半を占める療養給付費は増額していないのか。

また、件数はさほど変わっていないということから、入院している方の診療内容に何らかの変化があったことが、高額療養費増額の要因なのか

答 12月までの実績では、療養給付費も前年度に比べ7・8%程度増えているものの、決算見込みでは、当初予算の範囲内で収まる見込みとなっている。

また、高額療養費の増加の要因については、新型コロナウイルス感染症拡大により減少していた手術の増加により、入院医療費が増加したことが要因と推測している。

3・4号 原案可決

第2回臨時議会

《予算審査特別委員会》

委員長 川上 美樹
副委員長 松山 教宗

5号 令和5年度一般会計補正予算(第10号)

問 「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業(低所得者支援及び定額減税補足給付金)」について、今回の補正予算額全額が繰越明許費として翌年度に繰り越されるようであるが、実際に対象者に給付される時期はいつ頃になるのか

答 今回の予算については、全額翌年度へ繰越すこととしているが、令和5年12月1日の基準日において、令和5年度の「住民税均等割のみ課税世帯」と、令和5年度の「住民税均等割のみ課税世帯」及び「住民税非課税世帯」に扶養されている18歳以下の子どもについては、対象者が確定していることから、年度内の給付に向けて準備を進めていきたい。

問 「小学校・中学校大規模改修事業」について、近隣市

町でも昨年中に学校へのエアコン設置を決めたという報道が出され、PTA組織からの要望書もあった中で、令和5年中ではなく、この時期の予算計上となった理由は何か



学校設置のエアコン

答 今回の事業費については、約1億8000万円というところで、できるだけ有効な財源を確保したいという思いから、交付税措置等により実質負担額が6700万円程度となる国の交付金を活用することとし、その内示が令和6年1月末であったことから、この時期の提案となった。

5号 原案可決

第1回定例会

《総務・文教委員会》

19号 美唄市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正の件

問 今回の改正によって、令和6年度から勤勉手当支給の対象となる会計年度任用職員は何人くらいいるのか。また、対象外となる勤務時間が週に15時間30分未満のパートタイム会計年度任用職員は何人くらいいるのか

答 勤勉手当支給の対象となる会計年度任用職員については、フルタイム68人、パートタイム31人を予定している。また、勤勉手当支給の対象外となる人数については、現在、整理や募集を行っているところであり、正確には把握できないが、令和5年度の実績ではパートタイム会計年度任用職員は188人であったことから、その中から今回対象となる31人を減じた人数が対象外職員の目安となると考えている。

市 議 会 だ よ り

22号 美唄市消防手数料徴収条例の一部改正の件

問 手数料が引き上げとなる、浮き屋根式特定屋外タンク貯蔵所、及び、浮き蓋付特定屋外タンク貯蔵所というのは、市内では、どこに設置されているのか

答 美唄市内には、現在、存在していないが、過去には、茶志内駅東側に新日本石油茶志内油槽所という施設があり、設置されていた1000キロ以上のタンク5基のうち、2基が浮き屋根式タンクであった。

23号 美唄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件

問 改正内容では、職員に対して、研修、訓練等を行うということが新たに条例の中に規定されると認識するが、今まで、こういった研修や訓練は実施されていなかったのか

答 条例では規定されていないものの、これまででも定期的に消防訓練を実施しており、今回、条例に規定されることに伴い、防火訓練のほか、地

震や感染症等に関しても、毎年、訓練を行う旨の安全計画を立てている。



放課後児童施設

18・20・21号 質疑なし
18・23号 原案可決

《産業・厚生委員会》

24号 美唄市税条例の一部改正の件

問 本市の現行の保険料率と今回の改定内容について。また、本市の保険料率と北海道の令和12年度統一保険料率との差、及び今後の改定に向けた考え方について

答 本市の現行の保険料率に

ついては、所得割14・1%、均等割4万7200円、平等割3万5000円となっており、今回の改正では、所得割均等割は据え置き、平等割を4万600円に引き上げている。また、本市の現行の保険料率と令和12年度統一保険料率を比べると所得割は0・16%多く、均等割は742円、平等割は1万1461円少ない結果となっており、今後の改定については、市民への急激な税負担の増加を求めることのないよう、過去の繰越金の積立てである国民健康保険支払準備基金繰入金を活用しながら、段階的に改定を行う予定である。

30号 美唄市米穀乾燥調製処理施設条例の一部改正の件

問 原料もみの単価が9・4円から15円になるとあり、5・6円の値上げであるが、割合にすると5割以上となることから、15円の算出理由について

答 美唄市米穀乾燥調製処理施設内のみすり機、色彩選別機が24年を経過しており、大型機械の更新が必要となる

ことから、利用者説明会、理事会において議論した結果、原料もみの単価が15円となった。



米穀乾燥調製処理施設

25・29・31号 質疑なし
24・31号 原案可決

請願第1号 物価上昇に見合う高齢基礎年金等の引き上げを求める請願

意見 物価が上昇する中、実質的には年金が引き下げとなる改定を行っており、年金で暮らす高齢者にとっては、食費や暖房費を節約し、生活することになり、若い世代も老後の将来に展望を持つことができないことから、高齢者も

若者も安心して老後を暮らせるよう、本請願については、願意妥当として採択し、物価上昇に見合うよう高齢基礎年金等の支給額の改善について、政府関係機関に意見書として送付すべきではないかと考える。

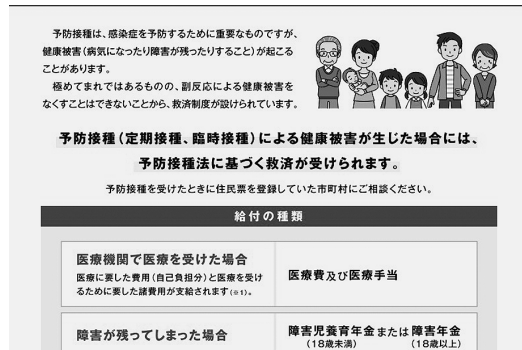
請願第1号 願意妥当

《予算審査特別委員会》
委員長 松山 教宗
副委員長 山上他美夫
6号 令和5年度一般会計補正予算(第11号)

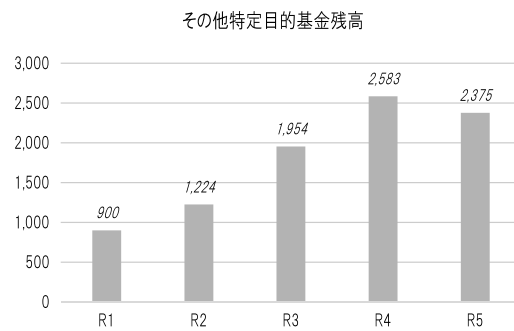
問 「新型コロナウイルスワクチン接種事業」について、ワクチン接種によって健康被害を受けた方の認定までに長い時間がかかっており、医療費の自己負担が多額となる可能性もあることから、速やかな対応が必要であるが、今後の考え方について

答 今後、ワクチン接種による健康被害の申出があった場合、本人からの医療費の領収書や各医療機関からの診療録等を速やかに提出していただくよう要請し、早期の進達に努めていく。また、国の審査委員会については、全てのワ

クチン接種についての認定を行っていただくため、時間がかかるのはやむを得ないと思うが、機会があれば国に早急な対応について要望していく。



予防接種後健康被害救済制度について



基金残高 (百万円)

ら、実効性がかなり低いいため、現時点では減額する基金を選定していない。

8号 令和6年度美唄市一般会計予算

総務費

問 広報紙メロディーの配布手数料について、以前は町内会に支払っていたが、財政健全化計画の中で平成20年度に廃止された。高齢化が進み配布に苦慮していることも含めて、今後復活はしないのか

答 配布手数料を復活してほしいという声は聞いているが、現時点では復活の考えには至っていません。

ていない。今後、町内会から話を聞き、どのような対応ができるのか話し合いをして、令和7年度に向けて検討していきたい。

民生費

問 「美唄市恵風園・美唄市恵祥園建替え等基本構想策定事業」について、基本構想を作成した後、順次、基本計画、実施計画に進むと思うが、これらの計画における建替え財源は何を考えているのか



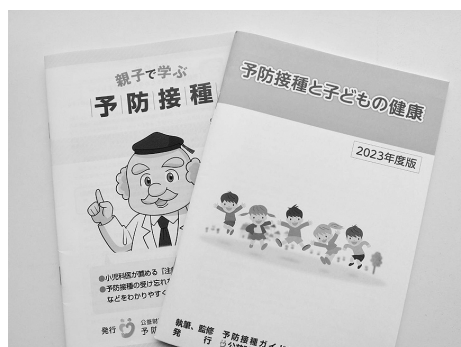
恵風園・恵祥園

答 公設民営あるいは民間活力も含めた多角的な検討を行うが、市で建設するとなった場合は、国の補助金や事業債

過疎債を活用し建設することが想定される。

衛生費

問 「定期予防接種事業」について、新たに新型コロナウイルススワクチン接種の一部を補助することだが、その補助率について。また、本人負担はどの程度になるか



予防接種パンフレット

答 新型コロナウイルスワクチンについては、令和6年4月より高齢者のインフルエンザや肺炎球菌のワクチンと同じ定期予防接種B類に位置付けられ、補助率は同様の3分の2と考えている。また、国から示された接種費用7000円に初診料や手技料等を含む

めた経費約1万円に対し、3分の2が助成されるため、本人負担は3000円程度と考える。

労働費

問 地域人材開発センター運営事業について、前年度に比べ負担金が1・5倍に増えているが、その理由は

答 当該センターは、開設から26年が経過し外壁からの雨漏りが発生していることなどから、令和6年度に外壁塗装改修を予定している。

農林費

問 「鳥獣捕獲等事業」について、ヒゲマ、エゾシカ、アライグマなどによる農業被害額はどのくらいあるのか

答 令和4年度の農業被害額は、エゾシカは27万8千820円、アライグマは18万5000円、ヒゲマは0円となっている。

商工費

問 「多目的宿泊施設管理運営事業」について、今年度まで総務費で行われていたが、来年度から商工費で行うこと

となつてはいるが、こういった変更があるのか

答 農商工連携担当の取組の中で、美唄産農産物を活用した新商品の開発、販路拡大等のほか、ふるさと納税やふるさと美唄応援団の取組による関係人口や交流人口の創出を図っており、美唄の食や農に触れ合ってもらいながら更なる関係人口や交流人口の創出を図ることを目的に商工費に所管替えを行った。



多目的宿泊施設トマーレびばい

土木費

問 「道路維持管理事業」について、近年、2月初めから雪が解け始め、道路路面が出ている状況が見受けられる。

消防費

問 「火災予防推進事業」と「救急業務推進事業」について、近年、コロナ禍が明け、外国人観光客が美唄市を訪れたり、国道12号を通っている



道路維持管理

そのため、凍上による道路の段差が早い段階から見られ、土のうによる応急処置が行われているが、対応が早まることを見込んだ予算措置となっているのか

答 ここ最近、春先の雪解けが早く進捗していることから2月中旬には作業を進めており、こういったことを踏まえて、予算を確保している。

中で、観光バスやレンタカーの外国人が事故を起こしたり、美唄に居住している外国人が事故や火災に遭った場合、現場において、さまざまな言語に対して職員はどのように対応しているのか

答 外国人との現場での会話については、多言語通訳コールセンターの活用と、外国語音声翻訳できる「救急ボイストラ」というスマートフォンアプリを使用して対応している。

教育費

問 「郷土史料館管理運営事業」について、以前に郷土史料館に障がい者料金の設定がないことについて質問したが、今の段階でこういった検討が進んでいるのか

答 障がい者減免について、他市町の状況を調査し、ほとんどの市町村で、本人については全額減免、加えて介助者も減免になるという結果であったことから、郷土史料館についても本人は全額減免、介助者についても減免するよう、12月に郷土史料館管理規則を改正し、4月1日から施行する予定である。

歳入全般

問 北海道が2025年度以降に宿泊税の徴収を開始する見通しとなり、道内では10以上の自治体が導入を目指す報道されているが、美唄市ではどう考えているのか

答 宿泊税について、道内では既に導入している自治体もあるが、美唄市で導入するとなれば、市民理解を得られるよう宿泊税をどういう目的で使うのか全庁的な検討が必要と考えている。

9号 令和6年度美唄市民バス



郷土史料館

ス会計予算

問 西線の路線は、東線と比べ事業費に対する利用料の割合が低く、利用者のニーズに合っているのか議論はしているのか

答 西側は面積が広く定時定路線の運行は難しいが、利用者のニーズに沿った運行が必要であるため、担い手の課題もあるが乗り合いタクシーの拡充を検討したいと考えている。



市民バス

10号

令和6年度美唄市国民健康保険会計予算

問 令和6年度から保険税率が引き上げられているのに、収入の予算が減額になっている理由はなぜか

市 議 会 だ よ り

(11)

答 令和5年度において、想定以上に被保険者数が減少したことから、令和6年度当初の被保険者数が大幅な減となったため、保険税率の引き上げ額よりも被保険者数の減少による保険税の減の方が上回った形となったため。

12号 令和6年度美唄市介護サービス事業会計予算

問 恵風園の浴室昇降機の故障により入浴に支障をきたしているとは、こういった状況なのか



浴室昇降機

答 浴室昇降機については、2台あるうちの1台が故障したため、残りの1台だけで入

浴を行っているため労力、時間がかかっている状況である。

14号 令和6年度美唄市病院事業会計予算

問 診療収益予算に約13億6000万を計上しており、令和5年度の見込額8億5122万4000円と比べて、かなり増えているが、この増える根拠について

答 令和6年度診療収益の積算理由として、現在は内科の常勤の医師が1人のところ、総合診療医1人を新たに配置予定であることや、診療報酬の改定、病院の建替えによる透析センターの増床や療養環境加算などを見込んだ積算となっている。

15号 令和6年度美唄市水道事業会計予算

問 主要な建設改良事業の中で、浄水場施設の改良事業が計上されているが、具体的に何を改良するのか

答 光珠内配水地の水質計器と水位計改良工事、及び東峰延配水地の水質計器の改良工事を予定しており、耐用年数の15年を経過したものから順

次改良を行っているものである。



光珠内配水地内部

17号 令和6年度美唄市下水道事業会計予算

問 南美唄地区について、下水道計画区域から外したということで、これらの地域については個別排水を適用することになると思うが、この適用は進んでいるのか。

答 南美唄地区の下水道事業については、平成18年度に公共下水道整備計画を縮小し、高齢化や人口減少のある地域ということから、令和3年度に下水道計画区域の対象外とした。地元の連合会長や町内会、地域住民、陸上自衛隊美唄駐

屯地との協議の結果、計画区域から除外し、令和4年度から個別排水処理施設整備事業の対象区域として事業を進めている。



個別排水

総括質疑

質疑なし

6・7・33・9・17号 原案

可決

8号 反対あり、起立採決原案可決

第1回臨時議会での審査議案（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

承認1号 専決処分承認を求める件（令和5年度美唄市一般会計補正予算（第8号））

議案1号 総務・文教委員会

議案2号 産業・厚生委員会

議案3・4号 予算審査特別委員会

第2回臨時議会での審査議案（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

議案5号 予算審査特別委員会

委員会

7号 令和5年度美唄市下水道事業会計補正予算（第3号）

質疑なし

11号 令和6年度美唄市介護保険会計予算

質疑なし

13号 令和6年度美唄市後期高齢者医療会計予算

質疑なし

16号 令和6年度美唄市工業用水道事業会計予算

質疑なし

質疑なし

結果報告

第1回定例会での審査議案（簡単な内容説明です。委員会報告にある件は、委員会名を記載してあります。）

報告1・5号 例月出納検査結果報告

市 議 会 だ よ り

報告6号 定期監査報告
承認2号 総務・文教委員会
所管事務調査の件
承認3号 産業・厚生委員会
所管事務調査の件
承認4号 議会運営委員会所
管事務調査の件
議案18号 美唄市職員定数条
例の一部改正の件
議案20号 美唄市まちづくり
基本条例の一部改正の件
議案21号 美唄市消防団員等
公務災害補償条例の一部改正
の件
議案19・22・23号 総務・文教委員会
議案25号 美唄市介護保険条
例の一部改正の件
議案26号 美唄市指定地域密
着型サービスの事業の人員、
設備及び運営の基準に関する
条例の一部改正の件
議案27号 美唄市指定地域密
着型介護予防サービスの事業
の人員、設備及び運営の基準
等に関する条例の一部改正の
件
議案28号 美唄市指定介護予
防支援等の事業の人員及び運
営並びに指定介護予防支援等
に係る介護予防のための効果
的な支援の方法に関する基準

を定める条例の一部改正の件
議案29号 美唄市指定居宅介
護支援等の事業の人員及び運
営に関する基準を定める条例
の一部改正の件
議案31号 美唄市給水条例及
び美唄市布設工事監督者の配
置基準及び資格基準並びに水
道技術管理者の資格基準に関
する条例の一部改正の件
議案24・30及び請願1号 産業・厚生委員会
議案6・7・33・8・17号 予算審査特別委員会
意見書第1号 企業・団体献
金の全面禁止等を求める意見
書
意見書第2号 将来にわたり
持続可能な農業の実現を図る
食料・農業・農村基本法の改
正等に関する意見書
意見書第3号 物価上昇に見
合う高齢基礎年金等の引き上
げを国に求める意見書

市議会の動き

1月	2月	3月	4月
10日 議会運営委員会 第1回臨時議会	29日 広報委員会	4日 第1回定例会	3日 広報委員会
11日 総務・文教委員会 産業・厚生委員会 予算審査特別委員会 議員協議会	8日 議会運営委員会 広報委員会	8日 議会運営委員会 一般質問	11日 広報委員会
11日 北海道せき損センター 存続等対策特別委員会	13日 予算審査特別委員会	11日 議会運営委員会 一般質問	
29日 北海道せき損センター 存続等対策特別委員会	18・19日 予算審査特別委員会	12日 総務・文教委員会 産業・厚生委員会 北海道せき損センター 存続等対策特別委員会	
8日 議会運営委員会 広報委員会	21日 第1回定例会閉会 議会運営委員会	13日 北海道せき損センター 存続等対策特別委員会	
9日 第2回臨時議会 予算審査特別委員会	26日 議会改革推進委員会 広報委員会	18日 北海道せき損センター 存続等対策特別委員会	
29日 議会運営委員会 議会改革推進委員会		21日 第1回定例会閉会 議会運営委員会	

お知らせ

本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。令和6年第2回定例会は、6月上旬の予定です。日程など詳しくは議会事務局（電話63-0141）にお問い合わせ下さい。



美唄市議会トップページ



美唄市議会中継

編集後記

新年早々に、能登半島地震から始まり、次の日には支援物資を運ぶ飛行機の事故と、大変な年始となりました。

災害によって亡くなられた方々には心よりご冥福をお祈りします。又、被災された方々にはお見舞い申し上げます。災害はいつ起こるかわかりません。本市も災害に強い街づくりを進めていく為にも、議会として市民の皆さんのご意見を行政に届けていきます。

(海鉾)

広報委員会
委員長 松山 教宗
副委員長 吉岡 建二郎
委員 江川 いつみ
委員 海鉾 則秀